

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年 9月22日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年9月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	平成29年9月15日のサブドレン一次貯水タンク(G)排水操作前の確認において、排水操作に必要な書類(「サブドレン他浄化設備の処理済水試料採取・分析依頼およびサンプリングチェックシート」および「サブドレン他浄化設備の処理済水分析結果報告書」)に記載されている当該タンク貯留量に誤りがあることを確認した。 このため、当該タンクの貯留量を確認し誤記を訂正した。	G II
2	構内巡視中において、キャスク仮保管設備のゲート西側付近で業務車を方向転換のため後進させた際、後方の車両に気づけなかったため、後方車両に接触させた。 なお、人身には影響はなかった。	G III
3	発電所港湾内に係留中のメガフロートにおいて、係船ロープ全11本のうち1本の切断を確認したため、当該ロープを交換する。原因は波浪の影響によるものと推定した。 なお、メガフロートの係留に影響はない。	G III